

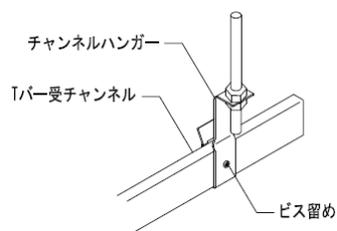
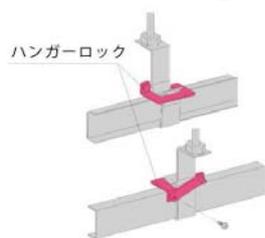
## 既存システム天井 ラインシリーズの脱落低減措置例について

システム天井ラインシリーズは構成材のピッチや数量及び形状が一様ではなく、さらにその架構方法から耐震化が難しいとされています。ここでは、フェールセーフの考え方を基に既存システム天井ラインシリーズの脱落低減措置の例を紹介します。グリッドタイプについての耐震基準は「システム天井グリッドタイプ耐震基準（2016年版）」をご覧ください。

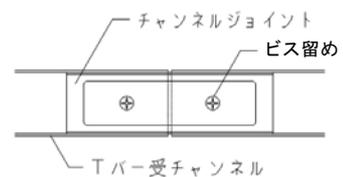
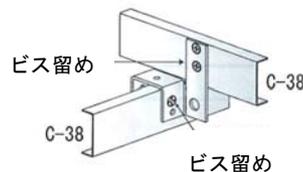
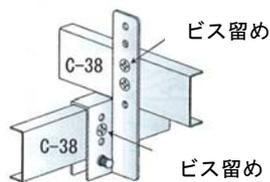
### 一 既存ラインシリーズの脱落低減措置例 一

#### ■天井材相互の緊結（ボルト接合、ねじ接合等）に主眼を置いたもの

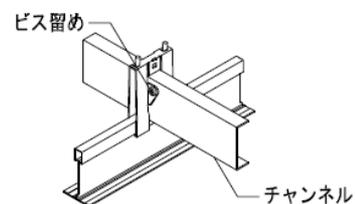
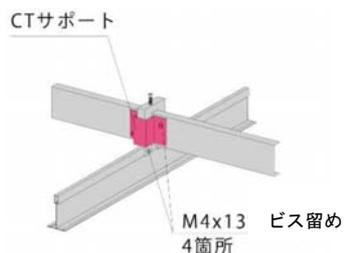
##### 1. チャンネルハンガーの開き止め



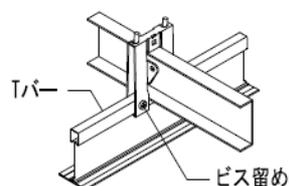
##### 2. チャンネルとチャンネルのずれ防止



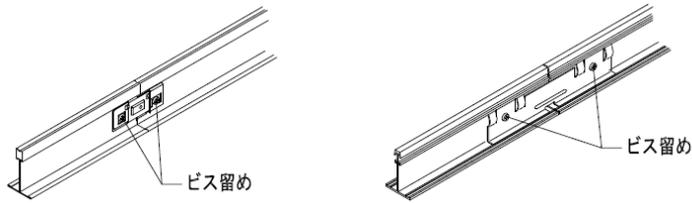
##### 3. チャンネルとCTクリップのずれ防止



##### 4. CTクリップとTバーのずれ防止

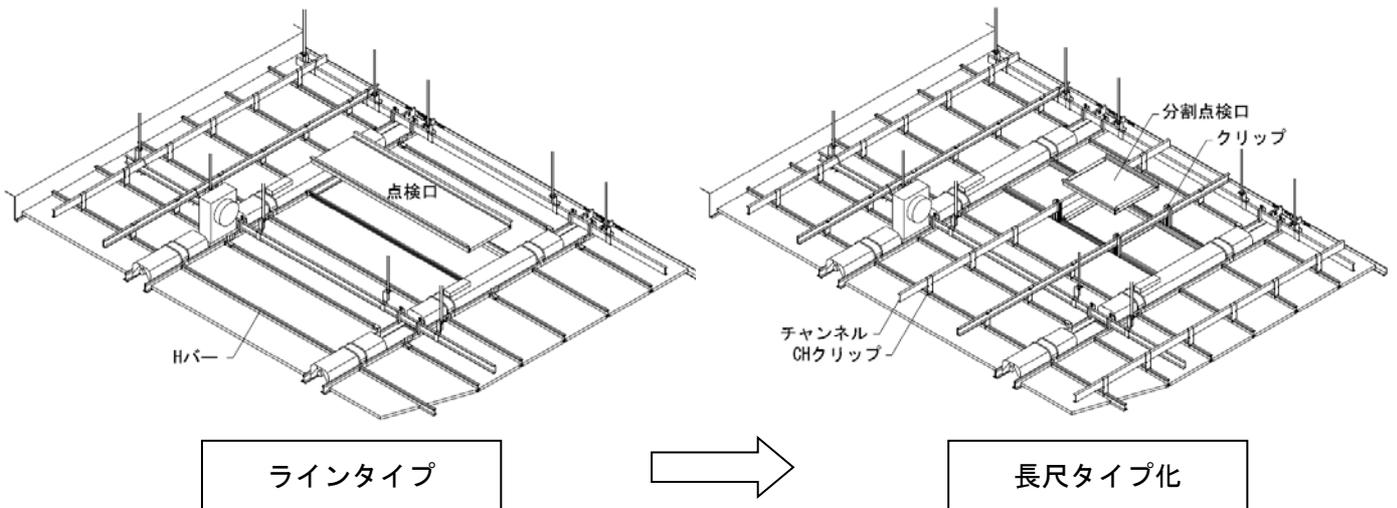


## 5. TバーとTバーの固定



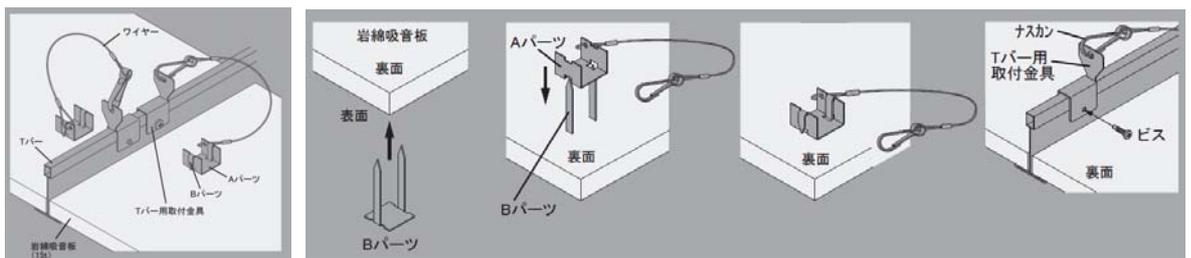
### ■フェールセーフの考え方に主眼を置いたもの

6. 壁際以外のHバーも全てチャンネルよりCHクリップ(2ヶ)で支持 (下図)
7. 点検口を分割し点検口バー(外)をチャンネルよりクリップで支持 (下図)

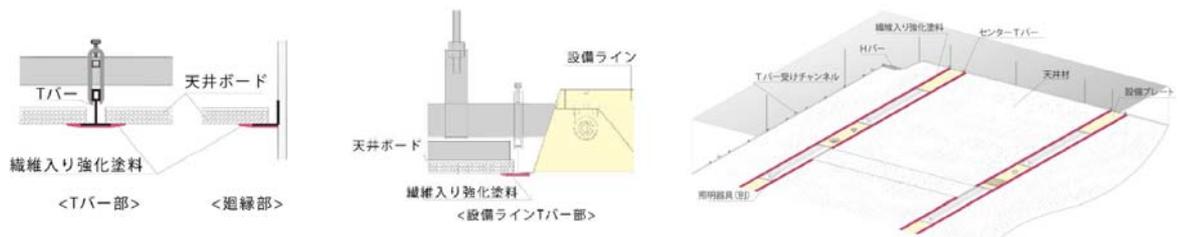


### ■その他の例

8. 天井板とTバーを連結 (金具+ワイヤー)



9. 天井板とTバーの固定 (繊維入り強化塗料)



\* 上記各措置例はあくまで一例であり、他の方法を否定するものではありません。  
各措置及び、開口補強、設備機器の振れ止め等については監理者をご協議下さい。